

知りたい写真著作権セミナー

公益社団法人日本写真家協会／一般社団法人日本写真著作権協会 共催事業

2022年 6月 25日(土)

15:40～16:40

スナップ撮影を楽しむための著作権講座 +Q&A

講師：吉川信之（写真家／日本写真家協会著作権委員会委員長）

棚井文雄（写真家／日本写真著作権協会常務理事）

2022年 6月 26日(日)

①10:30～11:15

写真愛好家のための著作権講座（講師：吉川信之）

②11:30～12:15

ストリートスナップを撮るために必要なこと（講師：棚井文雄）

③13:30～14:30

スナップ撮影を楽しむための著作権講座 +Q&A（講師：吉川信之・棚井文雄）

場所：京都市勧業館「みやこめっせ」大会議室

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1

参加無料（各回定員 70名）

事前予約／各回 40名 メール受付

件名に「写真著作権セミナー参加申込／京都」と希望日時を明記の上

お申込み下さい→info@jps.gr.jp スマホの方は QR コードからのお申込が便利です。

当日受付／午前の部：10時より整理券配布（各回30名）

／午後の部：13時より整理券配布（6/25、6/26 各回30名）

セミナーは諸般の事情により変更、中止になる場合があります。JPSのHPにてご確認下さい。



メール受付



© Kohryu Matsuo

セミナー内容

ストリートスナップを撮るために必要なこと

「被写体のプライバシーに関する問題を知るほどに、ストリートスナップができなくなってしまった」「ビルを撮影していたら“肖像権”があるから撮るなと言われた」、こんな声を耳にします。街中で撮影するためには、撮影時に一定のマナーを守ることを前提としつつ、公表についてのルールも正しく理解しておくことが大切です。

これから時代にストリートスナップを撮り続けていくために必要なことをお伝えします。



Nobuyuki Yoshikawa

吉川信之（よしかわ のぶゆき）

写真家／日本写真家協会著作権委員会委員長

1969年東京都生まれ。法政大学社会学部卒業後、フリーで雑誌を中心に活動。1999年に日本写真家協会入会、2021年～著作権委員会委員長。JPS会員から寄せられた著作権相談の回答などの執筆を担当中。共著に『SNS 時代の写真 ルールとマナー（日本写真家協会編 朝日新聞出版）』。著作権講演は日本ユニ著作権センター（JUCC）定期セミナー、東京ビジュアルアーツ写真学科・特別授業など。現場の写真家の立場から、実務的な視点で写真著作権や肖像権、被写体の知財権などを研究中。

Fumio Tanai

棚井文雄（たない ふみお）

写真家／日本写真著作権協会常務理事

東京工芸大学にて細江英公氏に学び、在学中より大倉舜二氏に師事。独立後、『家庭画報』『Wedge（新幹線グリーン車搭載誌）』

『レオン』での連載や、『フィガロ』『ヴァンサンカン』『別冊太陽』などで器、料理、海外リゾートの撮影を行う。

中国、欧州での作品制作を重ね、パリ、ニューヨークなどで個展開催。文化庁芸術家研修員として作品制作。2005年に渡英後、ニューヨークに拠点を移し、10年にわたり活動。ストリートスナップを中心に世界各国で撮影を行い、フランス国立図書館、ニューヨーク近代美術館をはじめ欧米の美術館などに作品収蔵。著作権関連の著作として「ストリートスナップは死んだのか？I, II」

（日本写真著作権協会 JPCA NEWS vol.11 & 24）、『意外と知らない写真の権利』『フォトコン』2021年1月～12月号がある。

一般社団法人日本写真作家協会会長